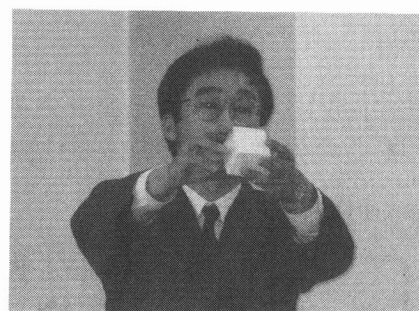


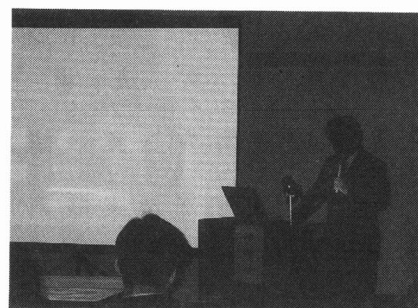
東和町立下太田小学校 服部 忠彦 教諭

児童の内面からわき出す思いや問いを大切にする学習活動を展開することで、自ら学び自ら考えることができるようになったという算数科の実践が報告されました。児童全体がその思いや問いを共有化して課題とする活動を通して、学習課題の解決に向け積極的に取り組むようになったとの発表がありました。



会津坂下町立坂下小学校 田中 英人 教諭

家庭科の授業において、題材構成や題材との出会わせ方を工夫し、保護者等との連携・協力のもと、効果的に家庭生活と授業をつなぐ問題解決的学習を展開した結果、家庭生活を振り返ったり学んだことを生かしたり、自分らしさを発揮したりできるようになったという報告がありました。



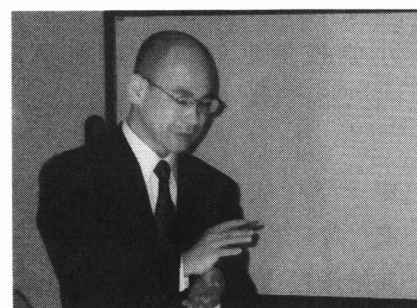
郡山市立郡山第六中学校 佐々木 清 教諭

理科の観察・実験において、課題追究計画表を用いて、生徒一人一人の学習課題の構造化を図り、興味・関心に応じた弾力的なグループ編成による課題選択学習を行い、知識の統合化のために概念地図をまとめた段階で用いた結果、総合的な見方や考え方はぐくまれたという実践が報告されました。



福島県立安積高等学校 渡邊 望 教諭

高校物理の運動方程式導出の過程で、段階ごとに手順を明示する「解析マニュアル」を用いて概念理解を自己分析し、問題解決法や実験において、グループによる検討や役割分担し、発表することにより、概念理解が助けられ、「構成を見抜く力」が培われたという発表がありました。



福島県教育センター 坂爪 靖夫 指導主事

理科、技術・家庭において、自ら学び自ら考える力の育成にかかわる観点に焦点を当て、その高揚や伸長を図るために、科学的な思考を促す教材開発や授業展開の工夫に取り組み、その有効性を確かめた6つの授業実践研究・調査研究について報告がありました。

